

振興銀が破綻



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2010年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

mobile.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」本紙、当社ホームページをご覧ください。

初のペイオフ発動へ

金融庁の検査を妨害した疑いで警視庁の強制捜査を受けた日本振興銀行(東京)は10日、2010年9月中間決算で債務超過に陥る恐れがあると、自主再建を断念し

預金保険法に基づく破綻処理を金融庁に申請した。同行は振興銀の破綻を認定し、同行に対して10日から12日まですべての業務停止を命じる行政処分を出した。預金の払

戻保証額に上限を設けるペイオフを1971年の制度発足以来、初めて実施する方針。

ペイオフで保護されるのは、預金の元本1千万円とその利息で、それを上回る場合は預金の一部がカットされる可能性が高い。

振興銀は2004年に、竹中平蔵元金融担当相などと親交があった、日銀出身で元金融庁顧問の木村剛氏らが中小企業向けの専門銀行として設立した。

ペイオフでも全額保護される決済用預金を扱っておらず、取扱商品は定期預金だけ。実際の預金

カット額は振興銀の資産状況を詳しく調べた上で決められる。

金融庁は5月に、振興銀に対し業務の一部停止を命令。6月には検査を妨害したとして刑事告訴し、警視庁が強制捜査に踏み切った。木村氏らはその後逮捕、起訴された。09年2月に破綻した商工ローン大手SFCGから大量に購入した債権などの資産査定を見直したところ、不良債権が大幅に増えたとみられる。

振興銀は10年3月末時点で、預金残高は約5927億円。1千万円を超える預金者は約4800人で計686億円。



日本振興銀行本店 7月、東京都千代田区